

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	都市計画道路3・4・18号鹿窪・砂窪線の整備に向けた取組	式	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	都市計画道路3・4・18号鹿窪・砂窪線の整備	%	目標	21.00	39.60	54.30
			実績	9.10	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	都市の骨格を形成する都市計画道路の整備は重要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	将来県道となることが予定されている路線であり、県が事業主体ではあるが、一部区間を市で施工することになった。
	手段の妥当性	A 妥当である	都市計画道路であり、行政が整備することは妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	交付金や起債を活用し、計画的に事業を進めていく。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	公共性の高い事業であり、将来における道路ネットワーク構築の観点からも偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	本格的な事業着手は令和6年度からのため、まだ評価できない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	本格的な事業着手は令和6年度からのため、まだ評価できない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
多額の事業費が見込まれる事業であり、財源確保が不安視されること、また、多数の移転対象家屋があるため、用地取得の長期化が懸念される。道路整備について、地権者の理解と協力をえられなければ円滑に事業を遂行することはできない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
令和6年度から用地買収に着手し、一定区間の買収完了後、区間ごとに工事着手する予定である。しかしながら、現在の人員体制では事業を円滑に進めることは難しいため、早期完成を目指すためにも担当職員の体制強化が必要である。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 多額の事業費と長期間の街路整備事業であるが、市民（街路沿線事業者）との合意形成を図り、早期完成を目指し事業を推進していく。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	
管理課連絡欄	